

2009. 8. 22

夏の祭典 ザルツブルク音楽祭を聴く 第2回

プログラム

今日は前回に引き続き、ザルツブルク音楽祭の録音を聴く特集の第2回目です。ザルツブルク音楽祭の楽しみのひとつに正規録音では実現していない名演奏家同士の共演やオーケストラとの共演があります。1970年代には世界各地から招かれたオーケストラに様々な指揮者、ソリスト達が共演するという魅力的なプログラムがたくさんありました。例えば前回お聴き頂いた1971年のアバード指揮のチェコ・フィルには、他にカラヤン、ベーム、ノイマン、ロンバルド。今回お聴き頂く1975年のバーンスタイン指揮のロンドン響には他にベーム、小澤征爾、プレヴィン、レヴァインが指揮し、ソリストもアルゲリッチ、アラウ、グレリス…と、豪華な音楽祭にふさわしい顔ぶれでした。また、バトルのリサイタルには指揮者レヴァインがピアノ伴奏で登場。そんな名演奏家達の演奏に酔いしれながら、この音楽祭の雰囲気を楽しんでいただければと思います。

ウォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756~1791):

オーボエ協奏曲ハ長調K.314 ~ 第1楽章、第2楽章から、第3楽章から

ハインツ・ホリガー (オーボエ)

クリストフ・フォン・ドホナーニ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1973.8.11 ザルツブルク、モーツァルテウムでのLive)

ロベルト・シューマン (1810~1856):

クライスレリアーナop.16 ~ 抜粋

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

(1982.8.21 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

ジャン・シベリウス (1865~1957):

交響曲第5番変ホ長調 ~ 第1楽章から、第2楽章から、第3楽章

レナード・バーンスタイン指揮ロンドン交響楽団

(1975.8.27 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

*** 休憩 ***

リヒャルト・シュトラウス (1864~1949):

歌曲“夜”(8つの歌op.10の3) / 歌曲“心はただよう”

**フェルナンド・オブラドルス (1897~1945): 歌曲“君のかぐわしい髪で”
黒人霊歌“レニー・ゴー・ロム”**

キャスリーン・バトル (ソプラノ) / ジェームズ・レヴァイン (ピアノ)

(1987.8.26 ザルツブルク祝祭小劇場でのLive)

カール・マリア・フォン・ウェーバー (1786~1826):

ヴァイオリンとピアノのための“協奏二重奏曲”op.48 ~ 第2楽章、第3楽章

ギドン・クレメル (ヴァイオリン) / アンドレイ・ガヴリーロフ (ピアノ)

(1978.8.13 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

エクトール・ベルリオーズ (1803~1869):

幻想交響曲op.14 ~ 第1楽章(夢と情熱)から、第2楽章(舞踏会)、

第4楽章(断頭台への行進)、第5楽章(ワルフルギスの夜の夢)

ジヨルジュ・プレートル指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(2004.8.21 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)